

【市税条例等の一部改正】

本改正により28年度以降、法人市民税が約5千万円の減額、軽自動車税が約1千万円の増額となり差し引き4千万円の減額が見込まれる。ただし、理論上は減額分の75%が地方交付税で補填されるため実質約1千万円の減額となる予定である。

【過疎地域自立促進計画】

道の駅ふたついにある二ツ井テニスコートの移設に伴う国の補償額に

【能代市国民健康保険税条例の一部改正】

条例の改正に伴う課税限度額と軽減措置の対象世帯の見込みについては、課税限度額の対象は147世帯、軽減措置の対象世帯は全体で5783世帯を見込んでいます。

【臨時福祉給付金給付事業費及び子育て世帯臨時特例給付金給付事業費】

6月10日発行の広報のしろで制度の概要、申請のお知らせを行い、対象見込みの方へは6月下旬に申請書を送付し、9月

については、今後、土地、建物、工作物等について

国の補償基準に基づいて算定が行われ協議を進めていくこととなる。

【辺地に係る総合整備計画】

山谷辺地に係る総合整備計画を定めようとするものである。

【能代河畔公園整備事業】

津波に対する避難については地域防災計画の全体的な見直しの中で津波避難計画を定め対応する。

【風疹予防接種】

妊婦が風疹にかかると先天性風疹症候群の子供が生まれる可能性が高いことから、それを防ぐことを目的に予防接種の助成を実施したいと考えている。対象者は、妊娠を希望する女性、妊婦の夫婦と同居の家族のほか、今年度は、妊娠を希望する女性のパートナーも追加している。今後広報や新聞広告等で周知に努めていく。

【地域おこし協力隊】

総務省の制度を活用し三大都市圏等から2名募集を予定。おのおのバスケの街づくり、宇宙のまちづくりを推進する。市内外の情報収集と発信、交流人口の拡大等に取り組み、最長3年の予定である。

総務企画委員会

文教民生委員会

委員会審査報告



庁舎整備特別委員会

産業建設委員会

【非構造部材耐震補強事業の実施が必要な学校の状況】  
四小と二ツ井小を除く小・中学校の体育館と二ツ井中学校の武道館に改修が必要な箇所が確認された。

【園芸メガ団地育成事業の内容】  
事業主体は、JAあきた白神で県2分の1、市とJAが各4分の1を負担する事業であり本年度は施設整備等が行われる。事業終了の28年度には生産量391・8トン、販売額1億500万円程度を見込んでいる。

○26年度補正予算  
【さくら庭を含む来庁者及び公用車専用駐車場予定地に植えられている桜や樹木の伐採】  
昨年の秋に樹木医による木の診断を行い、既に病気がかかっている樹木が多くあることがわかった。さらに、さくら庭等の整備、旧淳城第二小学校の体育館、プール等の解体工事の支障となる樹

【6次産業化推進事業の支援方法】

農家レストランや農家カフェ、農家民宿等の開業のほか、野菜や加工品の移動販売といった取り組みなども支援していく。また、6次産業化の経営相談等の支援もしていきたい。

【轄ノ目橋の通行どめと鹹淵下悪戸線の事業】

現在、迂回道路で使用する同路線は大型車両の通行により損傷が目立つため舗装補修することとした。また地元自治会や事業者より意見を伺い橋の架けかえはせず同路線を拡幅することで

理解をいただいている。今後、測量設計や用地買収等を行い工事は28年度から2カ年を予定している。

【河畔公園に大型複合遊具を計画した経緯】

24年度に行った緑の基本計画策定の市民アンケートで遊具のある大きな公園が市内になく、近隣市町村へ遊びに行っている等の意見が寄せられた。このため乳児から児童まで遊ぶことができ、また遊びに来たいと思うような大型複合遊具の設置を計画した。

(落合 範)

木もあり、剪定が必要な樹木が1本、伐採せざるを得ない樹木は20本である。伐採した桜の木は庁舎整備等において、何らかの形で活用ができないか検討している。  
【庁舎整備費769万8千円】  
地中熱採熱調査業務委託料で、地中熱利用による予算軽減については、地中熱ヒートポンプシステムのランニングコストは低減されるものの、機器設置等のインシャルコストが3倍程度高くなるが、国の3分の2の補助金を活用することで、ほぼ同程度の実質負担額で導入が可能となる。また、近隣の施設で導入されているところでは電気料金がか予想以上に削減されている。さらに、この地中熱利用の事例は北海道地区が最も多く、採熱方法は、深さ10m以深に地中熱交換器(Uチューブ)を差し込み専用の不凍液を巡回して地中熱を取り入れる。安定した地中熱利用を図ることで電気料金の軽減が期待できる。

(伊藤)